

<b>授業科目</b> Evidence-based Practice 概論	<b>科目概要・形式</b> 1 単位 15 時間	<b>配当年次</b> 1 年 前期
<b>科目責任者</b>	角濱 春美	
<b>担当者</b>	Pamela Minalik、角濱 春美	
<b>1. 科目のねらい・目標</b> Evidence-based Practice（EBP：根拠に基づいた医療実践）について、その基本を理解する。EBP に必要とされる一連の過程（関連する情報の検索、論文の批判的吟味、情報の臨床適用、実践適用のバリア）について理解する。EBP のステップ、実践適用とそのバリアについては、EBP 先進国である米国の状況について理解を深め、今後の実践への示唆を得る。		
<b>2. 授業計画・内容</b> 1) 授業計画 第 1—2 回 EBP の基本的理解 【角濱 春美】 EBP の定義と歴史、根拠とは何か、エビデンスヒエラルキー、臨床実践ガイドライン 第 3—4 回 研究活用のプロセス 【Pamela Minalik】 Translational Science、Synthesis Science、Implementation Science、Systematic Review 第 5—6 回 EBP のステップ 【Pamela Minalik】 EBP のステップ（PICOT Format）、実践適用とそのバリア 第 7—8 回 普及理論の概要と EBP の普及 【角濱】 Rogers の普及モデルと派生したモデル、医療技術の普及の特徴と EBP 日本での普及の阻害要因、促進要因 2) 授業内容 学生によるプレゼンテーションや演習を含みながら実践的に学ぶ		
<b>3. 教科書、参考書</b> <教科書> なし（資料配布する） <参考書> 授業で随時紹介		
<b>4. 成績評価方法</b> レポート評価とする		
<b>5. 受講要件</b> なし		
<b>6. 社会人学生に対する配慮</b> 夜間、土日開講とする。		
<b>7. その他</b>		